

放射線治療

獣医療では日本初導入 ～ 新しいRTのカタチ ～ トモセラピー

放射線治療は、外科療法・化学療法とともにがん治療の三本柱の一つで、高いエネルギーの엑스線(メガボルトージ)を体外から腫瘍に照射する方法です。

トモセラピーとは？

強度変調放射線治療（IMRT）および画像誘導放射線治療（IGRT）を併用して行うCTと一体化した放射線治療装置です。正常組織への照射を最小限に抑え、腫瘍組織のみに照射が可能な最新の放射線治療器です。

どんな効果があるの？

腫瘍を消失あるいは縮小させる、出血を止める、痛みを和らげるなどの効果が期待できます。

副作用はないの？

様々な程度の副作用が生じる可能性があります。ただし、基本的に照射部位のみに起こり、治療終了後、数週間で落ち着きます。ただし、照射方法によっては晩発性の副作用（数年後に発生する副作用）が起こる可能性があります。



📍 トモセラピーには主に3種類の照射方法があります。

根治放射線治療：1回線量を少なくして複数回（12～20回）に分けて照射する方法です。副作用を軽減し、放射線治療で最大の効果が得られます。

定位放射線治療（SRT）：腫瘍や大きさや部位など、一定の条件を満たした場合にのみ行える新しい照射方法です。週に3～5回の照射で治療が完了し、腫瘍の根治を目的としています。

緩和放射線治療：1回線量が高く設定され、少ない回数で照射することが可能な照射方法です。主に、疼痛緩和や出血抑制など徴候緩和に使用され、延命は目的としていません。

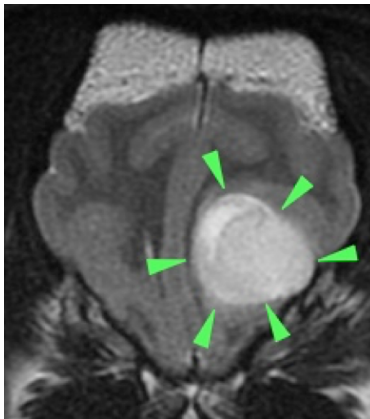
📍 主な適応腫瘍

- ・ 頭頸部：脳腫瘍、鼻腔内腫瘍、口腔内腫瘍、甲状腺癌、喉頭腫瘍、口腔内メラノーマ
- ・ 胸腔内：胸腺腫
- ・ 腹腔：肝臓腫瘍、副腎腫瘍、腹腔内リンパ節転移など
- ・ 骨盤腔：膀胱腫瘍、前立腺腫瘍、転移性リンパ節など

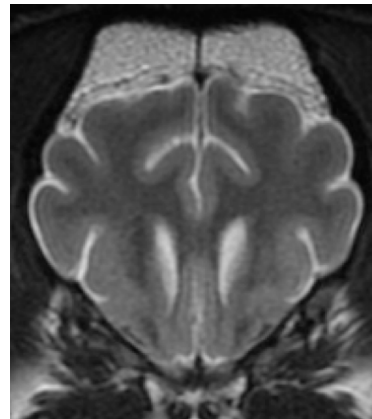
📍 症例 脳腫瘍の根治放射線治療時のMRI像 (4 Gy/回、合計12回照射、総線量48Gy)

フレンチ・ブルドッグ 6歳齢 去勢雄

照射前



照射後



📍 照射方法と費用について

照射方法	照射回数	照射頻度	来院の様式	費用総額の概算(税抜き)※
根治放射線治療	12～20回	連日(月～金)	通院あるいは入院	98万円
SRT	3～5回	連日～隔日(月～金)	通院あるいは入院	60万円
緩和放射線治療	4～6回	週1～2回	原則的に通院	50万円

※費用総額には、診察料、血液検査、CTあるいはMRI検査、麻酔、放射線照射計画、放射線照射費用、入院費などが含まれます。なお、費用は合併症や基礎疾患の有無によって変更される場合がございます。

📍 予約から治療までのながれ

- ▶ 初診予約はがんセンター経由でご予約ください
- ▶ がんセンターでの診察および治療プラン作成
- ▶ 放射線治療医によるコンサルテーション
- ▶ 治療計画のためのCT検査および固定具の作成
- ▶ 治療計画作成および治療の検証(約1週間前後)
- ▶ 入院あるいは通院にて放射線治療
- ▶ 治療完了後は定期検診を当センターにて継続

予約や治療のご相談などございましたら、お電話にてお問い合わせください。

獣医師・第1種放射線取扱主任者 放射線治療科科長 澤田治美